

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴赤れんがパーク		
指定管理者	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（通称：海の京都DMO）		
設置目的	国の重要文化財であり、舞鶴の歴史的資産でもある赤れんが倉庫群を次世代へ伝えていくため保存・活用し、市民の憩いの場の創出と観光交流人口の増大による地域経済の活性化を図るため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日
所管課	産業振興部観光まちづくり室観光振興課		

2 利用状況等の推移

	令和2年度	令和3年度		
公式来場者数	256,992	225,591		
施設利用者数(人)	486,863	432,633		
利用料金(円)	4,873,356	7,075,523		
指定管理料(円)	36,386,000	36,115,000		

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
来場者数	900,000人	300,000人	225,591人	75%
観光消費額	170,000千円	110,000千円	96,709千円	88%
稼働率	50.0%	50.0%	37.6%	75%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	7,075,523	人件費	27,288,266
指定管理料	36,115,000	維持管理費	1,975,178
事業収入	83,606,636	事業費	89,630,179
その他	5,431,731	その他	5,925,740
合計	132,228,890	合計	124,819,363
差額			7,409,527

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	来場者数、観光消費額ともに前年度以上に新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言を受けた閉館等の影響もあり、目標には届かなかった。一方でオンラインゲームのファン向け商品を限定販売するなど観光消費の増加に努め、客単価の増加につなげたことは評価できる。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	市と密接な連携を図り将来のビジョンに沿って、現在すべきことを着実に実施している。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	海の京都の観光拠点施設として果たすべき役割を果たしている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	△	新型コロナウイルスの影響で当初の計画通りに事業展開はできなかったが、WEBページやSNSを活用した情報発信を頻繁に行うことで観光客誘致につなげた点は評価できる。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	従来の利用方法以外の検討を進め、会議での利用促進のためのWi-Fi整備の実施や、利用者に安心して利用してもらえるための体制づくりを進めていた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	◎	利用者・来場者に対し、常に親切丁寧な対応に努める姿勢は評価でき、リピーターも多いため利用者の満足度は高いと考える。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	定期的にモニタリングを行い、利用者の意見把握に努めている点で評価できる。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	迅速に苦情対応を行うなど評価できる。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	節電や、感染拡大による休館時に清掃等の日常管理を職員で行うなど外部委託経費の節減に努めている。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	様々なケースで複数見積もりを行うなど経費の節減に努めており、感染拡大による休館時には、清掃等の日常管理委託を職員で行い委託費の削減に取り組むなど経費の削減に努めている。
収入増加のための取組が行われたか	◎	自主事業として、収益事業を積極的に取り組み、結果として賑わいづくりと集客に貢献している。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	◎	職員の適正配置を実施しながら、非常に多くの来訪者への丁寧なサービス水準を維持できた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	観光案内機能を高めるためにも、職員研修を実施し、能力開発に努めている。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例や規則の厳守に努めている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	職員への管理を徹底している。
情報の公開が適切に行われたか	○	透明性のある運営を努めている。
収支状況や会計処理が適切か	○	専用システムを導入するなど適切に処理している。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	職員連絡網やマニュアルを作るなど、万一の場合に備える体制づくりができています。点は評価できる。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われている。
(5) その他コメント		
サービス向上	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新たな観光の形の模索が求められているなか、コロナ禍でも利用者が安心して施設を使用できるような体制づくりに加え、これまで以上に利用者同士の干渉や、観光客の動線確保など、赤れんがパーク全体を俯瞰しながら、イベントコントロールを行っていることは高く評価できる。	
経費削減	空調設定温度の適正化、照明の小まめな消灯など、施設サービスの水準を維持しながら経費削減しており、感染症による休館時は清掃等の日常管理を職員で行い外部委託経費を削減するなど更なる経費削減の取組は高く評価できる。	
施設の維持・管理	前年度に続き新型コロナウイルスの影響により、来場者数は低調であったが密にならない工夫等によるコロナ対策により感染者を出すこともなく、また大きな事故もなく、円滑に管理運営いただいたことを高く評価したい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.6点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>コロナ禍で休館日が多かったにもかかわらず、これだけの利益を計上したことは評価できる。新型コロナウイルス感染症の影響による約3か月間の休館の中経営も厳しかったと思われるが、大きな減収ともならず適切に管理がされた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による閉館期間を考えれば、良い結果といえる。</p> <p>コロナ禍で観光客の減少はやむを得ないが、PRに力を入れて今後につながる事業ができた。</p> <p>平日でもカップルや家族連れをよく見かけるようになり、認知されてきたように思う。</p> <p>飲食サービスをもっと増やしてもよいかと思う。</p>	

《参考》 過年度の評価点

令和2年度	年度	年度	年度	平均
4点				4点